

142. 自然公園 (続)

142. 自然公園

昭和61年5月9日現在

公 園	面 積 ha	概 況
国 定 公 園 南房総国定公園	5 677	東京湾に突き出た富津岬から房総の最南端に位置する野島崎を経て太東崎に至る190kmの海岸線と、内陸部の鹿野山・清澄山の両山系を併せた地域から構成されている。 風景は温和で繊細な内湾風景と、豪快で荒削りな外洋風景からなる海岸景観と、鹿野山、清澄山の丘陵性山地景観とから成っている。 また、公園の中には誕生寺、清澄寺、鹿野山神野寺など多くの社寺があり、そのほか鯛の浦、仁右衛門島などの名所旧跡も多く、信仰を兼ねた行楽や海水浴、避暑、避寒の地として古くから多くの人に親しまれている。
水郷筑波 "	32 237 (3 145)	千葉、茨城の両県にまたがり、筑波山系地域や霞ヶ浦、北浦等の湖沼地域、利根川下流及び犬吠崎一帯から構成されている。 本県における風景は与田浦などの湖沼や利根川を中心とする河川水路とそれらに架かる数多くの橋、集落がありなす水郷風景と犬吠崎一帯の豪快な海岸風景とから成っている。 公園の中には香取、鹿島の両神宮もあり、さらに成田山にも近いことから信仰を兼ねた行楽や魚釣りを目的とした人達で四季を通じてにぎわっている。
県 立 自 然 公 園 大 利 根 自 然 公 園	521	利根川の河川敷を中心とした地域と佐原市上宿台周辺の丘陵地帯からなっている水郷景観を主とした公園である。 神崎神社の森は県の天然記念物にまた境内の大クスは別名「なんじゃもんじゃの木」とも呼ばれ国の天然記念物に指定されている。
嶺岡山系 "	1 574	鴨川市の中央に位置し、市を分断するようにして西側に延び、一部丸山町を含む地域である。 ところどころに突き出た山頂を持ち変化に富んだ山稜線と、ゆるやかな起伏をなす愛宕山は美しい景観を持ち、特に愛宕山周辺は嶺岡県有林として、スギ、ヒノキ等の美林を有している。

公 園	面 積 ha	概 況
養老溪谷自然公園 奥 清 澄	2 790	養老川の上流域と南房総国定公園の清澄山に接する清澄山地及び飛び地の大福山から成る地域で構成されている。 養老川は美しい溪谷が見られ、養老溪谷から清澄山地にかけては国有林と東京大学演習林が大部分を占め、森林の美しさが良く保たれているほか、県内では珍しいモミ・ツガ林が残されている。
高 岩 山 "	2 342	高岩山を中心とする地域と、鹿野山の周辺をとりまく地域とから構成されている。 ニホンザルの群生地と知られる高岩山は、深い谷と切り立った崖をもち、房総半島ではあまり見られない山岳景観を形成している。
九十九里 "	3 253	弓状に湾曲した約66kmにわたる砂浜の連続で、本邦でもまれな大陸の規模の海洋風景。
富 山 "	491	富山を中心とする地域と、伊予ヶ岳を中心とする地域とから構成されている。 富山はおだやかな曲線とスギ林を主とした美しい樹林をもち、里見八犬伝の伝説と野ズイセンで知られている。 また、伊予ヶ岳は対照的に急峻な岩山で特異な景観を成している。
印旛手賀 "	6 598	古東京湾の遺跡湖である印旛沼と手賀沼を中心とする地域でその景観は広々とした印旛沼、手賀沼の湖沼と田園風景及び周囲の台地の斜面林とから成り都心に近い自然公園として貴重な存在である。 また、四季を通じ魚釣りの場としてもにぎわっている。
笠森鶴舞 "	1 948	自然林が良く保存されているのが特色であり、また国指定の重要文化財の笠森観音と飯尾寺不動明王座像がある。鶴舞には数千本の桜がある。

注) () の数は本県内の面積。 資料 自然保護課